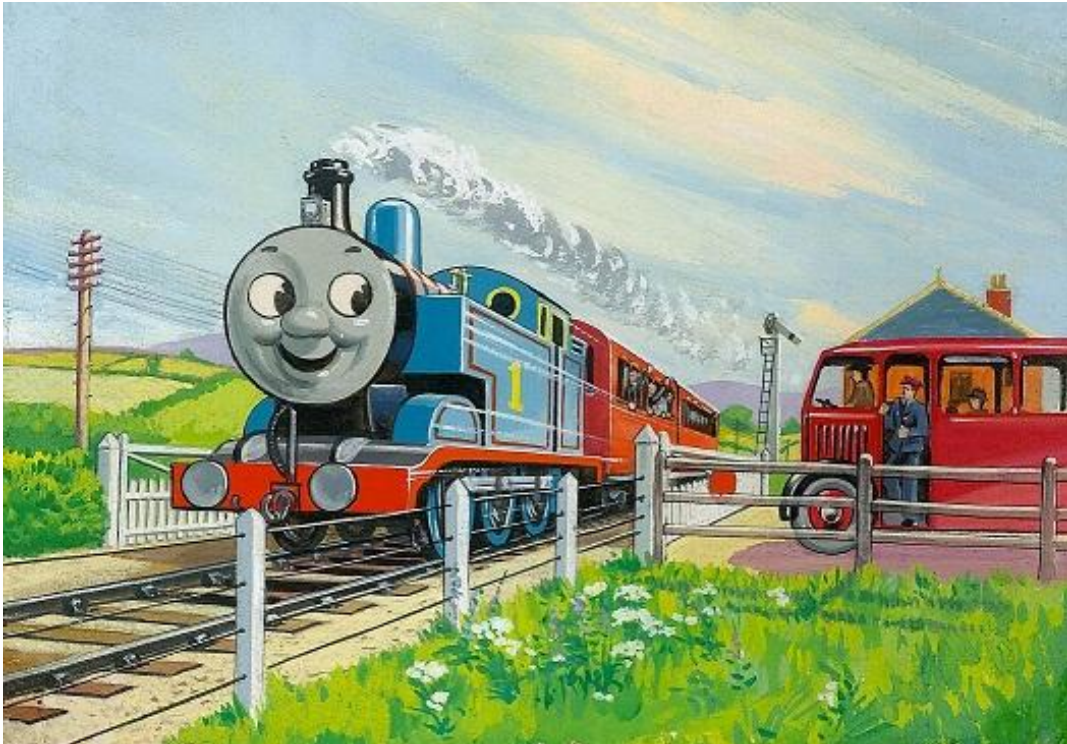


絵本
原画展

きかんしゃ
トーマス
となかまたち

TM



レジナルド・ダルビー「トーマスとパーティー」 1949年 ©2014 Gullane (Thomas) Limited.

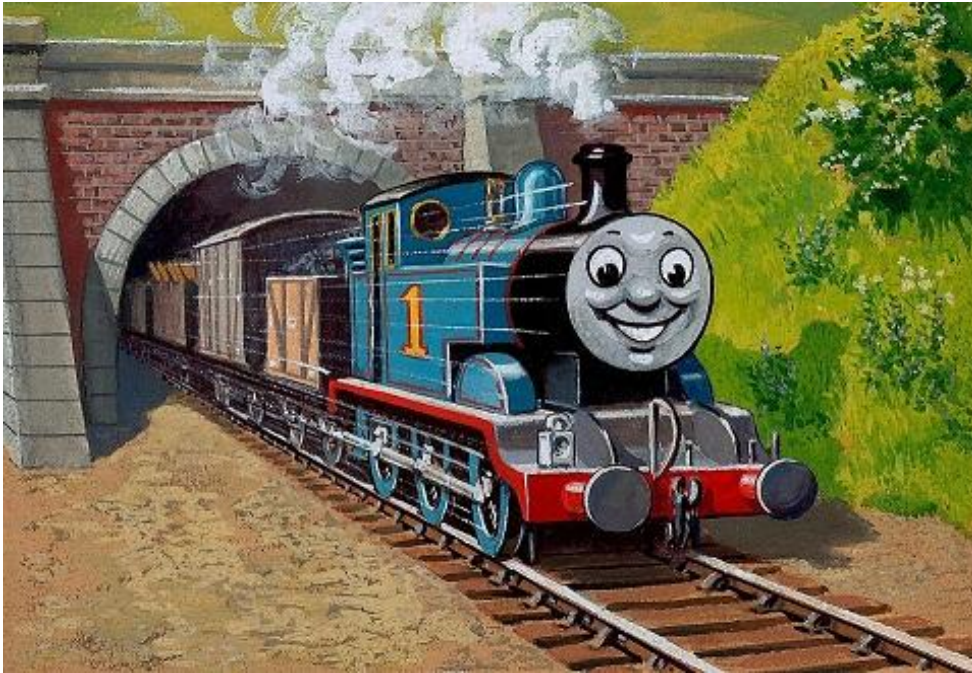
絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち

世界中で愛されている“きかんしゃトーマス”は、イギリスのロングセラー絵本「汽車のえほん (The Railway Series)」から生まれました。原作者はイギリスの牧師ウィルバート・オードリー。鉄道好きな父親に影響され、「機関車は単なる鉄の機械ではなく人間と同じように感情を持っている」と想像するようになったウィルバートは後に、病気で寝込んでいた息子のために蒸気機関車のお話を作ります。架空の島ソドー島を舞台にしたそのお話は1945年、「The Railway Series」としてイギリスで出版され、色鮮やかな挿絵とともに人気を博し、世界各国で翻訳されました。

1973年には日本でも「汽車のえほん」シリーズとして発行されます。その後、1984年にイギリスでTVシリーズ「きかんしゃトーマスとなかまたち」が登場。世界185の国と地域、30カ国語で放送され、日本では1990年に放送が開始されました。

本展では、ウィルバートが手掛けた「汽車のえほん」シリーズのうち、3組4名の画家（レジナルド・ダルビー、ジョン・T・ケニー、ガンバー&ピーター・エドワーズ夫妻）が描いた絵本原画をはじめ、息子クリストファーが受け継いだ日本未出版の「汽車のえほん」シリーズを含めた約340点を展覧しま

す。併せて、ウィルバートの直筆資料やTVシリーズの撮影で使用された機関車車両も展示し、“きかんしゃトーマスとなかまたち”の世界をご紹介します。



レジナルド・ダルビー「トーマスと貨車」1946年 ©2014 Gullane (Thomas) Limited.

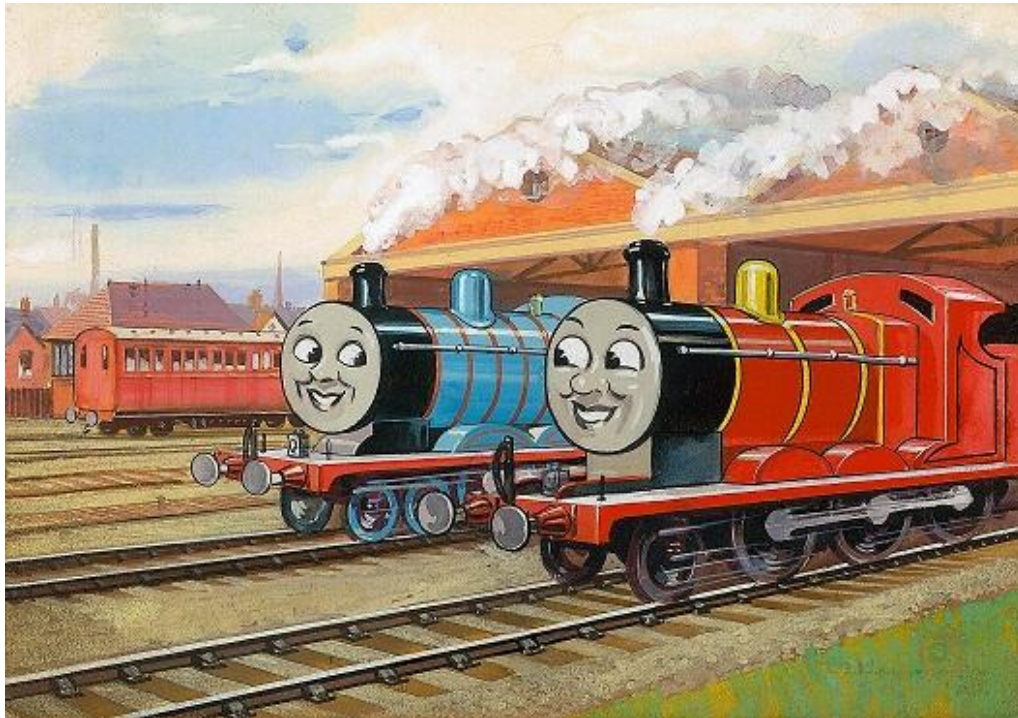
展覧会名 絵本原画展 きかんしゃトーマスとなかまたち

- 会 期 2014年11月8日(土)～12月25日(木)
休 館 日 月曜日(11月24日・12月22日は開館)、11月25日(火)
開館時間 午前10時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)
会 場 新潟市新津美術館
新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1 花と遺跡のふるさと公園内(新潟県立植物園となり)
TEL:0250-25-1300 <http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>
- 観 覧 料 当日 一般900円 大学・高校生600円 中学生以下無料
※有料20名以上は団体料金(20%引)
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(手帳をご提示ください)
※SLばんえつクーポン、新潟県立植物園もしくは新潟市新津鉄道資料館のチケット提示20%引き(割引の併用はできません。)
- 前売券 700円(一般のみ) 前売取扱期間:11月7日まで
【前売取扱場所】
セブン-イレブン(セブンコード032-802)、ローソンチケット(Lコード:39870)、イープラス<ファミリーマート>、チケットぴあ(Pコード:766-367)<サークルKサンクス>、セーブオン、デイリーヤマザキ、新潟伊勢丹、DeKKY401、イオン新潟県内各店、紀伊国屋書店新潟店、メディアシップ1F「えん」、新潟県立近代美術館・万代島美術館ミュージアムショップ、新潟市美術館、新津美術館 ほか県内プレイガイド
- 主催 きかんしゃトーマス新潟展実行委員会(新潟市新津美術館、TeNY テレビ新潟)、読売新聞社、美術館連絡協議会
後援 新潟県国公立幼稚園協会、新潟県保育連盟、新潟県私立保育園連盟、一般社団法人新潟県私立幼稚園協会、エフエムラジオ新潟、FM PORT79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ
協賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜
協力 ヒット・エンタテインメント、ソニー・クリエイティブプロダクツ、ポプラ社、小学館
企画制作 渋谷出版企画

◆展示構成

世界中で愛されている“きかんしゃトーマス”は、イギリスのロングセラー絵本「汽車のえほん」から生まれました。原作者のウィルバート・オードリー牧師が息子のために描いた蒸気機関車のお話は、色鮮やかな挿絵とともに人気を博し、さらにTVシリーズ「きかんしゃトーマスとなかまたち」は世界185の国と地域、30カ国語で放送されています。

本展では、3組4名の画家が描いた絵本原画をはじめ、息子クリストファーによる日本未出版の「汽車のえほん」シリーズなど約340点と、ウィルバートの直筆資料やTVシリーズの撮影で使用された機関車のモデル車両などを展示します。



レジナルド・ダルビー「ジェームスとシルクハット」1948年 ©2014 Gullane (Thomas) Limited.

汽車のえほん(きかんしゃトーマスシリーズ)誕生の物語

原作者 ウィルバート・オードリー (1911-1997)

鉄道好きの父の影響もあり、原作者のオードリーは少年時代に住んでいたウィルトシャー州ボックスの牧師館近くを走るグレート・ウェスタン鉄道を毎日飽きずに見ていました。さまざまな機関車たちの姿に、オードリーは「機関車は単なる列車ではなく人間のように感情を持っている」と想像を広げました。

ある日、息子エドワードがはしかにかかっていたときに、自分が少年時代に想像した古い蒸気機関車たちの話を語って聞かせました。いくつか話をするうちに、物語をかき集め、線画のイラストも加え「エドワードのたのしい一日」という物語になりました。それを妻のマーガレットが出版するように勧めると、出版社のエドモンド・ウォードが興味をもち、「汽車のえほん」(The Railway Series)として1945年5月に「三だいの機関車」が出版されました。

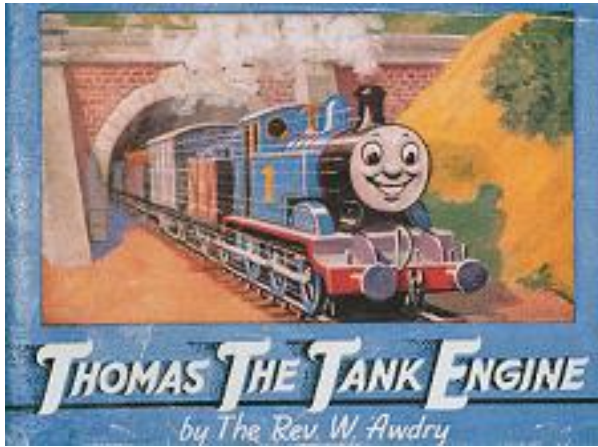
エドモンドは、挿絵が上手なC・レジナルド・ダルビーにイラストを依頼し、物語の面白さとダルビーの美しく鮮やかなイラストの効果もあって、たちまちイギリス中の子供たちの人気本になりました。

翌年「機関車トーマス」が出版され、その後も「汽車のえほん」としてシリーズ化してほぼ1年に1冊ずつ出版されました。

1972年に26番目の出版を最後にシリーズは終了となりましたが、1984年にブリット・オールクロフトによるテレビシリーズ(きかんしゃトーマス)と連動して1983年からオードリーの息子クリストファー・オードリーによる続編の執筆・出版がおこなわれ、14冊の続編が書き継がれました。

日本においては、1973年にポプラ社が「汽車のえほん」シリーズの出版をスタートし、ロングセラーシリーズとなっています。

1990年にフジテレビ「ひらけ!ポンキッキ!」で初放映されると、子どもたちの人気を集めました。



初めてトーマスが登場する汽車のえほん

「Thomas the Tank Engine」

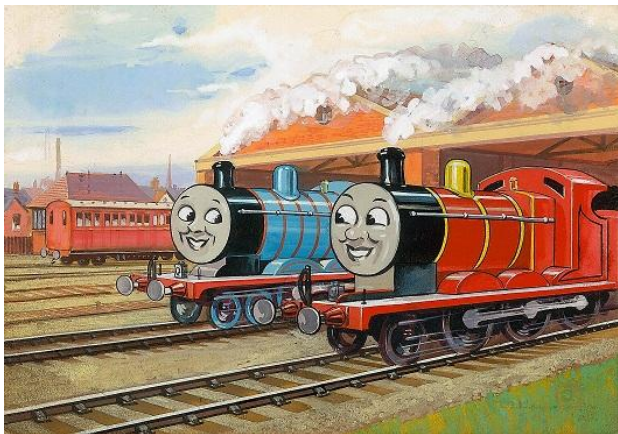


テレビ撮影車両モデル (イメージ)

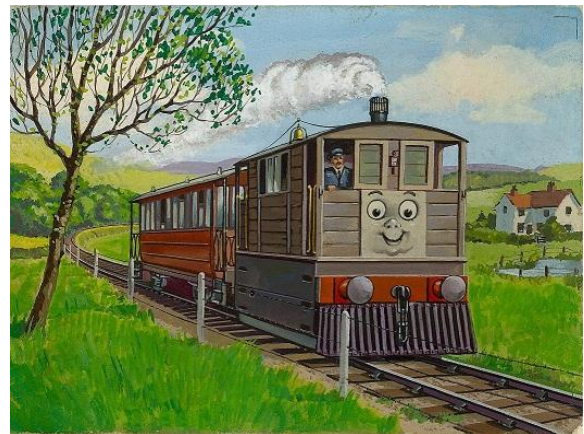
○絵本原画の画家たち

レジナルド・ダルビー (1904～1983)

「三だいの機関車」(1945年)、「機関車トーマス」(1946年)、「赤い機関車ジェームス」(1948年)、
 「がんばれ機関車トーマス」(1949年)、「やっかいな機関車」(1950年)、「みどりの機関車ヘンリー」(1951年)、
 「機関車トビーのかつやく」(1952年)、「大きな機関車ゴードン」(1953年) など



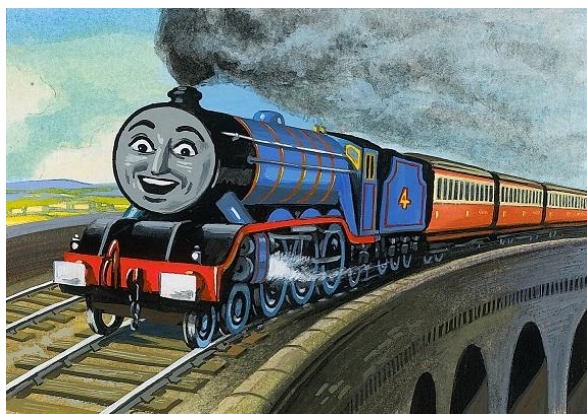
レジナルド・ダルビー「ジェームスとシルクハット」1948年



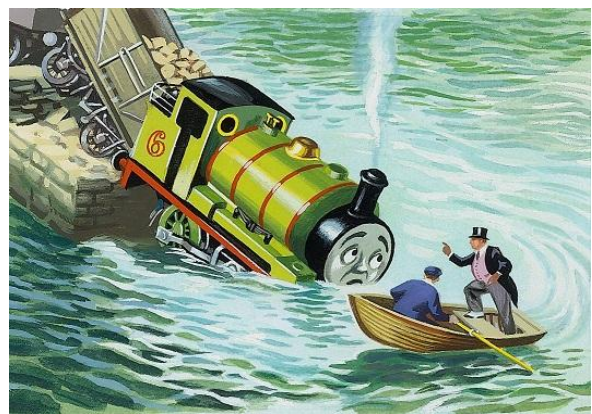
レジナルド・ダルビー「トビーとふとっちょのしんし」1952年

ジョン・T・ケニー (1911～1972)

「八だいの機関車」(1957年)、「ダックとディーゼル機関車」(1958年)、「小さなふるい機関車」(1959年)、
 「ふたごの機関車」(1960年)、「機関車トーマスのしっばい」(1961年)、「ゆうかんな機関車」(1962年)



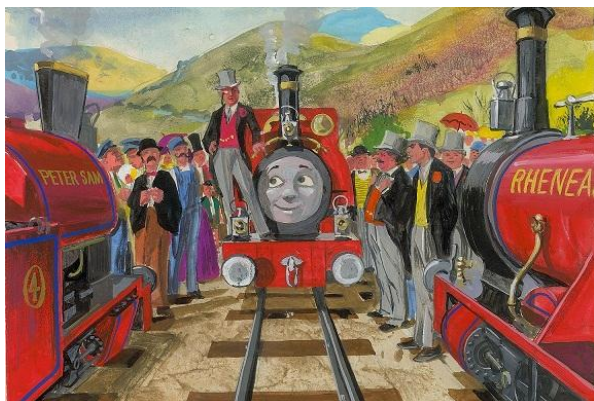
ジョン・T・ケニー「ゆうめいになったゴードン」1957年



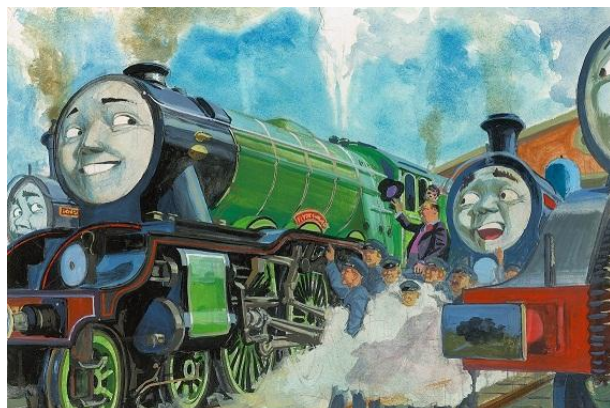
ジョン・T・ケニー「とびこんだパーシー」1957年

ピーター・エドワーズ (1934年～不明)

「がんばりやの機関車」(1963年)、「山にのぼる機関車」(1964年)、「100歳の機関車」(1965年)、「大きな機関車たち」(1966年)、「小さな機関車たち」(1967年)、「機関車のぼうけん」(1968年)、「機関車オリバー」(1969年)、「きえた機関車」(1970年)、「わんぱく機関車」(1972年)



ガンバー&ピーター・エドワーズ「ダックと公爵」
1965年



ガンバー&ピーター・エドワーズ「小西部鉄道」
1968年

関連イベント

○トーマスバスといっしょに記念撮影しよう！

11月8日(土)・9日(日)

11月22日(土)・23日(日)・24日(月)の5日間

10:00~16:30

美術館・前庭にて(無料)

いっしょに記念撮影ができます。(カメラは各自
ご持参ください)

※ただしご乗車にはなれません。



協力 学校法人藤見学園 藤見幼稚園

○トーマスを描こう！

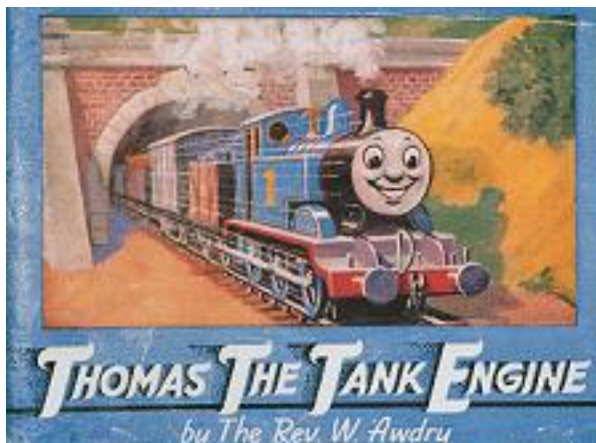
表情豊かなトーマスの描きかたなどを学びます(※要事前申込み)

11月16日(日) 11:00~12:00

講師 小池利春(新潟市マンガ・アニメ情報館副館長)

対象 小学生、保護者 15組(参加無料)

往復はがきに、住所・参加者全員の氏名(小学生は学年も)、電話番号を明記のうえ、新津美術館「トーマスを描こう!係」あてにお申込みください。(10月31日必着・応募多数の場合抽選)



初めてトーマスが登場する汽車のえほん
「Thomas the Tank Engine」

○トーマスのペーパークラフトを作ろう！

11月8日(土)・9日(日) 10:00～ 参加費1人1枚100円

(台紙がなくなり次第終了、・各日100枚)

○T e N Yアナウンサーによる絵本よみきかせ

11月29日(土)、12月6日(土) 各日11:00、14:00～ (約20分)

定員 当日先着100名(開場は各30分前)

無料 (ただし展覧会の観覧券が必要です)

○ボランティアによる絵本よみきかせ

11月23日(日)・24日(月)、12月14日(日)・21日(日) 11:00～ (約20分)

無料 (ただし展覧会の観覧券が必要です)

◆各種サービス

- ・「あいてマンデ〜！」 月曜でも開館します。

12月22日(月)は「あいてマンデ〜！」

- ・「こどもタイム」 毎月第1・第3の木曜・日曜日 10:00～13:00

会場に音楽が流れます。親子で会話を楽しみながらご鑑賞ください。

(この時間帯はお客様のご理解・ご協力をお願いします。)

- ・「託児サービス」 毎月第2・第4木曜・土曜日 10:00～12:00 (要事前申込み)

対象 生後6カ月～就学前のお子様 定員3名程度(無料)

利用日の3日前までにお電話(0250-25-1300)でお申込みください。(先着順)

○交通案内

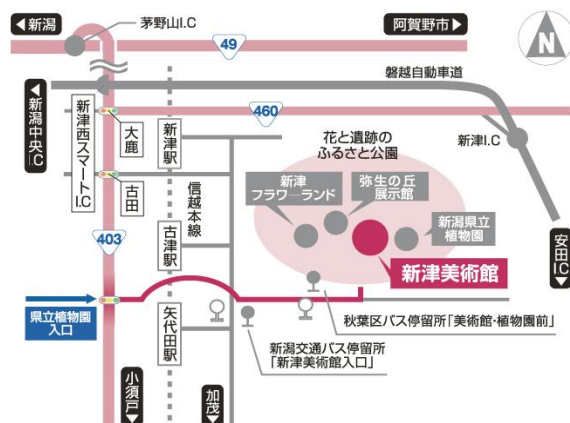
【徒歩】 JR古津駅から徒歩約25分

【車】 JR新津駅からタクシーで約15分/矢代田駅からタクシーで約5分

新潟方面から 国道49号から茅野山ICを国道403号線加茂・新津方面へ(新潟駅から約20km)

高速道 磐越自動車道・新津ICから約20分。新津西スマートICから約15分

【バス】 JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行」に乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。または新潟交通バス「矢代田経由白根・潟東行き」乗車約12分、「新津美術館入口」下車、徒歩約5分。/JR矢代田駅前バス停から 秋葉区バス「新津駅東口行」に乗車約7分、「美術館・植物園前」下車、徒歩すぐ。または新潟交通バス「新津駅行き」に乗車約3分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。



【お問い合わせ】新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1

電話：0250-25-1300

FAX：0250-25-1303

E-mail：museum.ni@city.niigata.lg.jp

担当/小林一吉 広報/小熊千佳子

広報用画像& 読者プレゼント用招待券申込み

本展覧会の作品画像データをご希望の方は、必要事項をご記入の上、新潟市新津美術館までFAXでお申し込み下さい。また、貴社広報物にて当展覧会をご紹介いただき、読者プレゼントをご希望の場合はお申し出ください。(招待券5組10枚まで可能)

※ 写真は本展覧会の広報用として、会期終了までの使用に限らせていただきます。

※ 読者プレゼントの際には、写真を掲載し本展をご紹介ください。また、プレゼントの受付・発送は貴社にてお願いいたします。

※ご掲載誌が発行されましたら、当館までご送付下さいますようお願い申し上げます。

会社名

メディア・部署

ご担当者名

〒

住所

TEL

FAX

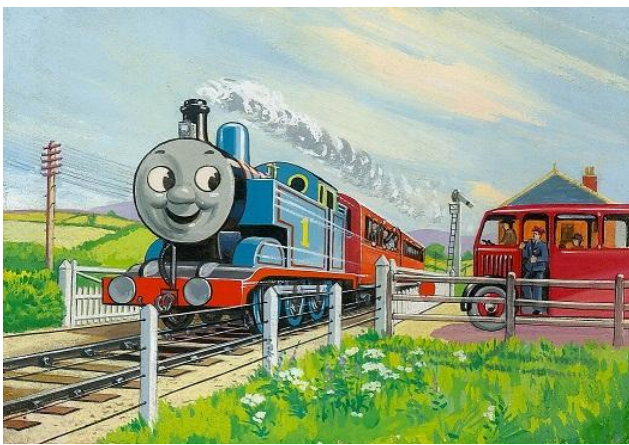
E-mail

読者用プレゼント用招待券 _____ 枚 希望 ※希望の場合のみ

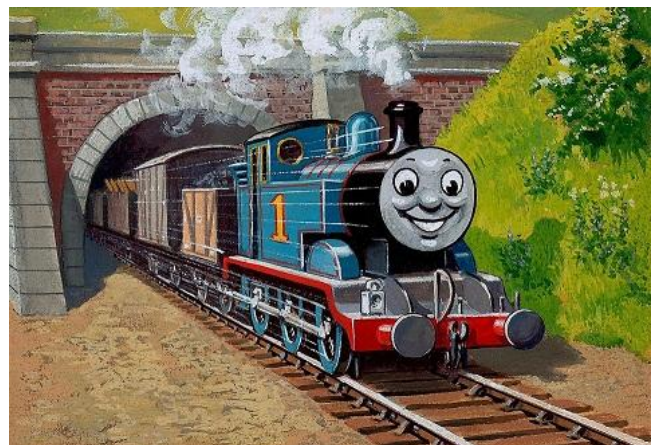
★希望画像データ (□に✓を入れてください)

※画像トリミング不可

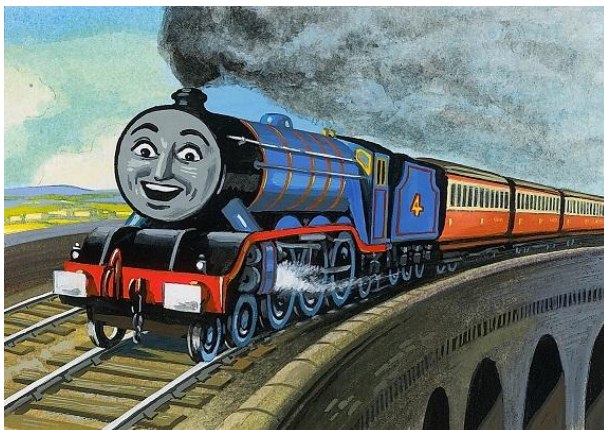
作品タイトルのあとに「©2014 Gullane (Thomas)Limited. 」を入れてください。



レジナルド・ダルビー「トーマスとパーティー」1949年



レジナルド・ダルビー「トーマスと貨車」1946年



ジョン・T・ケニー「ゆうめいになったゴードン」
1957年



ガンバー&ピーター・エドワーズ「トビーのつなわり」
1965年